

活動紹介 @ うねびにっこり子ども食堂

6/19に大軽町で開催されたうねびにっこり子ども食堂に、市職員がお邪魔してきました。
本日は、調理ボランティアさん13人、手渡しボランティアさん4人にお手伝いしてもらったそうです。
市職員は、開始時間の16時にお邪魔したのですが、200食のお弁当を手渡せるようにバタバタと準備をされていました。



かわいい手書きの
黒板がお出迎え

お弁当の包み紙に、次回開催日等のお知らせが印刷されています。



お弁当は子どもが大好きな唐揚げとハンバーグ、肉団子！
ゼリーまでついています！
野菜も彩りよく入っていて、お母さんたちも「栄養バランスが…」という罪悪感を持ちにくいと感じました！
市職員も思わず「おいしそう」とつぶやいてしまうくらいでしたww

お弁当の並ぶ姿は、圧巻です！



ひと家族ごとにお弁当の提供数が異なるため、必要な個数を一袋にまとめ、個数間違いがないように、袋に提供先の方の名前を貼って入念に準備されていました。

手渡しボランティアの方のお子さんや、学校帰りに遊びに来た子どもたちもたくさん来られ、教会内を走り回ったり、たくさんのおもちゃでにぎやかに遊んだりしていました。

遊ぶ時間がないお子さんには、おもちゃの貸出もされていました。

NPO法人「むすびえ」さんから提供を受けられたおもちゃ箱には、知育玩具や昔ながらのけん玉など、たくさんのおもちゃが入っていました！



こちらの食堂では、お弁当だけでなく、奈良県こども食堂ネットワークから提供を受けた靴下も、自由に持ち帰ってもらえるようにされていました。

こどもの靴下だけでなく、大人用もありました。

こどもの靴下はすぐ穴が開くので、ありがたいだろうなあ～と感じました。



こどもたちには、おやつが二個もらえるくじも
やっておられました。
特におもちゃで遊んでいる子どもたちは、おやつ
を食べてから勢いよく遊んだり、まったりとリ
ラックスしたり、各々が好きなことができる場所
になっていました。



予約していた方々が次々と訪れ、会場は
大盛り上がり！
地元の方がボランティアをされているた
め、手渡しボランティアさんと利用者さ
んが楽しそうに話をされる姿も多数見ら
れました。

スタンプカードもやって
います！



代表の西川さんにインタビューしてきました！

食堂の活動を通して感じたことは？

活動を通して、地元の方とのつながりが広がったと感じます。こども食堂の活動に興味はあるが、一人では難しいと思っている人がボランティアに加わってくださっていることもあります。主催者側としては、活動が負担になりすぎないように「できる範囲でいい」とお伝えするようにしています。活動をしている側も、「やっていて楽しい」と思える頻度で今は実施しています。

地域の方へ発信したいことは？

7月は会食形式で実施します。広い食堂で食べていただけるようにしています。小さいお子さんが遊べるスペースもありますので、おしゃべりしながら保護者の方がほっと休める時間にしてもらえたらと思います。

うねびにっこいこども食堂
代表 西川さん



利用者さんの声を聴きました！

「こどもが4人いるので、とても助かっています。ただ小さい子がいて、外で食べるのはなかなか難しいので、お弁当という形が助かっています」(利用回数4回目)

「晩御飯にちょうどよく、助かっています。子どももとても喜んでいきます」(利用回数10回目)

「ハンバーグなど子どもの喜ぶメニューが多く、助かっています」(利用回数10回目)

ご協力、ありがとうございました！！！！

